

## 平成 27 年度 学校関係者評価報告書

いまみや小中一貫校 学校協議会

**1 総括についての評価**

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

平成 27 年 4 月 1 日に大阪市ではじめて 3 小 1 中の統合を行いながら、小中一貫した教育を進めるという作業はおそらく非常に困難なものであったと推察する。

その中において、ICT を活用した教育の推進、1 年生からの英語学習などに積極的に取り組まれたのみならず、アンケート結果からも一定の成果がうかがえるところまで達成できているのは、いまみや小中一貫校の全教職員が一丸となって教育に心血を注いでいただいた結果であろうと考える。

これからまだまだ大変でしょうが、引き続き子どもたちに密着したいまみや小中一貫校の教育をよろしくお願いしたい。

**2 年度目標ごとの評価****年度目標：学力の向上****①【ICT を活用した教育の推進】**

電子黒板やタブレット等、ICT を学習活動で活用し、自分の考えをまとめたり、説明したりする力を高める。 (カリキュラム改革関連)

**②【自主的な学習習慣の向上】**

漢検・数検・英検等各種検定や発展的な学習活動に挑戦する「チャレンジタイム」を設定し、基礎学力の定着に向上が見られるようにする。また、児童生徒自身が目標を設定し、目標達成のために努力できる環境を整える。 (カリキュラム改革関連)

**③【外国語活動・英語教育の充実】**

実践を通して 9 年間を見通した小学校 1 年生からの英語教育カリキュラムを整備し、小中連携の新しい形を模索する。 (グローバル改革関連)

開校初年度にあれもこれもと求めるのは酷な話かもしれないが、学力向上において、ICT を活用した教育、自主的な学習習慣の向上、英語教育など様々な取り組みにおいて、一定の成果を上げてこられたことは、驚嘆の一語に尽きる。

この一年で、できたことあれば十分できなかつたこともあろうが、いまみや小中一貫校の全教職員が一生懸命取り組んでいただいたおかげである。概ね妥当な評価である。

①の ICT 機器については、タブレット PC の配備が遅くなつた事もあって、十分活用できるのか心配であったが、2 学期からの活用ではあったものの非常に良く取り組まれたようだ。

②の自主的な学習習慣の向上こそ、地域としては成果を求めるところであるが、あれもこれも手を広げるの現状では厳しいものがあったのではないか。

③の英語の取り組みはアンケート結果でも非常に高い成果があつたようである。大阪市でも先進的な取り組みの一つであると言ふことだが、引き続き英語を楽しく学ばせてほしい。

**年度目標：道徳心・社会性の育成****①【道徳教育の推進】**

道徳教育全体計画別葉の重点目標の内容項目を全学年部において作成し、実践のあり方を研究する。 (カリキュラム改革関連)

**②【国際理解】**

世界の文化を知り、日本の文化を学び、大阪の文化を体験し、平和の尊さを自らのものとする。 (グローバル化改革関連)

### ③【自他の違いを認め合い、支え合う意識の育成】

異学年交流・活動を通して互いに認め合い、支え合う集団を育成する。

(カリキュラム改革関連)

### ④【人権を尊重する教育】

学級・学年での教室環境などをユニバーサルデザインの視点で見直し、学校のユニバーサルデザイン化のあり方を検討・共通理解する。

(カリキュラム改革関連)

①では、近い将来、道徳が教科化されるということであるが、それに向けての研究が順調で何よりである。

②の国際理解では「平和の大切さがわかった」子どもたちの比率は非常に高いのは頼もしい限りである。世界レベルで平和を語れる人材を育ててほしい。

③は施設一体型小中一貫校の真骨頂が発揮されるべき項目だろう。引き続き楽しい交流を行いながら、互いに認め合い、支え合う集団を育ててほしい。

④のユニバーサルデザイン化は校舎としても、発展途上にあるようだ。はじめて学校を訪れたら、職員室に行き着くまでかなり迷いそうである。誰にも優しい学校づくりをめざしてほしい。

道徳心・社会性の育成については概ね妥当な評価である。

## 年度目標：健康・体力の保持増進

### ①【体力向上への支援】

体育の授業の進め方、休憩時間の過ごし方等について、小中連携して取り組みを研究し、実践する。

(ガバナンス改革関連)

### ②【体育的活動の充実】

運動部の活動の活性化や児童集会などでの運動的な取り組みを充実させ、運動に親しむ機会を増やす。

(カリキュラム改革関連)

### ③【健康な生活習慣の確立】

児童・生徒の委員会活動を中心に「規則正しい生活習慣をつける」「朝食を食べる」事の大切さについて日常的に呼びかける。

(カリキュラム改革関連)

①の体力向上への支援については平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果で見せてもらったように、男女でかなり違いがある。これは生活習慣の違いとも密接に関係している可能性がある。朝食の問題、睡眠時間の問題、ゲームをしている時間、携帯電話、スマホを使っている時間など生活習慣が健康や体力を増進させる方向にはたらいていないようだ。学校の努力だけでなく、家庭、地域とのさらなる連携が必要である。

②の体育的活動の充実では、運動系の部活の活性化や児童集会での運動的な取り組みを進めていただいているが、更に工夫して引き続き進めてもらいたい。

③の健康な生活習慣の確立でも、学校だけでなく家庭、地域との連携が必要である。校内でできる工夫は進められているが、校外での取り組みにどう繋げていくかを考える必要がある。

健康・体力の保持増進については、学校はよく頑張ってくれている。評価は概ね妥当である。

## 3 今後の学校運営についての意見

小中一貫校として開校1年目は非常に大変だったことと推察する。大阪市で初めての3小1中の統合がたった一年で完了するとは想っていない。まして、小中一貫校である。着実な歩みの中で、子どもたちの楽しそうな声が響く良い学校をつくってほしい。

目標とする取り組みについてもまだ充実させていく部分もある。そういう意味で、学校には継続して、「未来を創る地球人（ちきゅうびと）」をしっかりと育ててほしいし、そのための様々な取り組みを更に発展させてほしい。同時に地域との連携を更に深めて、地域を、西成のみならず地球を、より素晴らしい世界にできる人材を育ててほしい。いまみや小中一貫校にかける期待は大きい。